

事後評価シート

【評価年月】 平成15年4月

【主管課・室】 廃棄物・リサイクル対策部企画課

【評価責任者】 企画課長 竹内 恒夫

施策名、施策の概要及び予算額

施策名	I - 6 - (1) 循環型社会の形成の推進のための基本措置
施策の概要	循環型社会形成推進基本計画等の着実な施行
予算額	137,247千円(14年度予算)

目標・指標、及び目標の達成状況

目標	循環型社会の形成の推進のために循環型社会形成推進基本計画の数値目標を達成する。			
指標	平成12年度 (基準年)			平成22年度
資源生産性	約28万円/ト		目標値	約39万円/ト
循環利用率	約10%			約14%
最終処分量	約56百万ト			約28百万ト
達成状況	法律上の期限を半年以上前倒して策定(平成14年3月)した循環型社会形成推進基本計画において、循環型社会の形成のための数値目標を定めた。			

下位目標1	循環型社会形成推進基本計画に基づき、施策の総合的かつ計画的な推進を図る。
達成状況	法律上の期限を半年以上前倒し、平成14年3月に循環型社会形成推進基本計画を策定した。

下位目標2	政府が循環型社会の形成に関して講じた施策に関する年次報告(循環型社会白書)を作成し、情報収集・調査、普及啓発等を実施する。
達成状況	循環資源の発生、循環的な利用及び処分の状況、循環型社会の形成に関する政府の取組についての年次報告を、前年度に引き続き作成・公表した。

評価及び今後の課題

	<p>【必要性】(公益性、官民の役割分担等)</p> <p>我が国の経済社会を、これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄型から持</p>
--	---

<p>評価</p>	<p>持続可能なものへと変えていくためには我が国の経済社会活動を循環型に変えていく必要があることから、循環型社会の形成を図るための施策を総合的かつ計画的に推進するための循環型社会形成推進基本計画を平成15年3月に閣議決定・国会報告した。今後は、同計画に基づき、国、地方公共団体、事業者、国民等の適切な役割分担の下、各種施策を着実に実施していく必要がある。</p> <p>【効率性】(効果とコストとの関係に関する分析等)</p> <p>循環型社会形成推進基本計画では、循環型社会の形成に関する具体的目標や施策を総合的かつ計画的に推進するための事項を示すとともに循環型社会の姿をイメージとして提示している。これにより、今後の取組の方向性が明確になり、地方公共団体や事業者、NGO/NPO等の自発的取組を促すことが可能となり、国による取組のみの場合と比して、その効果は飛躍的に大きなものとなる。</p> <p>また、数値目標の達成度を毎年把握することにより、循環型社会の達成状況を的確に評価することが可能となり、効率的な施策の遂行が可能となる。</p> <p>【有効性】(達成された効果等)</p> <p>目標に対する総合的な評価</p> <p>循環型社会形成推進基本計画の作成及び年次報告の作成・公表により、今後の取組の方向性及び循環型社会形成推進基本計画の点検と見直しの基礎が整備された。今後は、毎年度、その達成度を的確に把握し、その着実な達成を図って行くことが課題である。</p> <p>下位目標毎の評価</p> <p>(下位目標1)</p> <p>我が国の目指す循環型社会のイメージ、具体的な数値目標などを示した循環型社会形成推進基本計画を法律上の期限を半年以上前倒して策定し、循環型社会の形成に向けての今後の取組の方向性を示した。</p> <p>(下位目標2)</p> <p>循環資源の発生、循環的な利用及び処分の状況、循環型社会の形成に関する政府の取組についての年次報告を作成・公表し、循環型社会形成推進基本計画の点検と見直しの基礎を整備した。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>循環型社会形成推進基本計画に定めた数値目標について、その達成状況の的確な把握</p> <p>循環型社会形成推進基本計画及びその考え方の周知</p> <p>国民一人ひとりの暮らしの見直しとごみ減量実践に向けた普及啓発</p> <p>地域における国民、NGO/NPO・事業者・地方公共団体の循環型社会</p>

<p>の形成に向けた取組の支援</p> <p>資源生産性算出の基礎となるマテリアル・フロー会計の国際的な比較検討 特に対策の遅れている排出抑制対策の推進</p>
--

政策への反映の方向性

事業の改善・見直し	<p><u>理由の説明</u>（新規、<u>拡充</u>、縮小、廃止等）</p> <p>上記課題に対応するため、従来の方策に加えて、地域における取組支援、国際的なマテリアル・フロー会計の検討等について拡充する。</p>
現行のまま継続	<p><u>理由の説明</u></p>

【別紙】

事務事業シート

施策名	循環型社会の形成の推進のための基本措置	
事務事業名 (関連下位目標番号)	事業の概要	主な関連予算事項等 (14年度予算)
循環型社会形成推進基本計画の策定等 (下位目標1)	「循環型社会形成推進基本計画の策定のための具体的指針」に即し、循環型社会形成推進基本計画を平成14年3月末までに策定する。	循環型社会形成年次報告策定事務費 (4百万円) 循環型社会形成推進基本計画策定準備費 (9百万円)
循環型社会形成に関する情報収集・調査の実施 (下位目標1, 2)	循環型社会形成推進基本計画に盛り込む数値目標の設定について調査・検討を行う。	循環型社会形成のための経済的負担措置等の検討 (14百万円) 循環型社会形成のための物質循環実態調査 (14百万円)
循環型社会形成に関する普及啓発の推進 (下位目標1, 2)	循環型社会白書の発行やホームページ等により普及啓発を推進する。	物質循環促進活動ネットワークシステムの構築 (25百万円)
廃棄物の処理施設の整備に関する計画の立案及び推進	廃棄物の適正処理や再生利用に必要な廃棄物処理施設の緊急かつ計画的に整備を推進する。	廃棄物処理施設整備費補助金 (160,273百万円の内数)
広域臨海環境整備センター事業の推進	広域処理場整備基本計画に基づき適正な広域処理場の建設及び管理を行う。	廃棄物処理施設整備費補助金 (160,273百万円の内数)

【別紙】 政策効果把握の手法及び関連指標

(施策名) - 6 - (1) 循環型社会の形成の推進のための基本措置 (下位目標番号) 1	単位	現況値(時点)	目標値(目標年次)
(指標名) 資源生産性	万円/トン	約28万円/トン (平成12年度)	約39万円/トン (平成22年度)
指標の解説(指標の算定方法) GDP / 天然資源等投入量			
評価に用いた資料(インターネットの公開・非公開の別) 循環型社会形成推進基本計画 http://www.env.go.jp/recycle/circul/keikaku.html	関連する事務事業名 循環型社会形成推進基本計画の策定等 循環型社会形成に関する情報収集・調査の実施 循環型社会形成に関する普及啓発の推進		
目標値設定の根拠 -			
特記事項 (外部要因の影響など) -			
目標値の実績値 別紙 循環型社会形成推進基本計画 参照			

【別紙】 政策効果把握の手法及び関連指標

(施策名) - 6 - (1) 循環型社会の形成の推進のための基本措置 (下位目標番号) 1	単位	現況値(時点)	目標値(目標年次)
(指標名) 循環利用率	%	約10% (平成12年度)	約14% (平成22年度)
指標の解説(指標の算定方法) 循環利用量 / (循環利用量 + 天然資源等投入量)			
評価に用いた資料(インターネットの公開・非公開の別) 循環型社会形成推進基本計画 http://www.env.go.jp/recycle/circul/keikaku.html	関連する事務事業名 循環型社会形成推進基本計画の策定等 循環型社会形成に関する情報収集・調査の実施 循環型社会形成に関する普及啓発の推進		
目標値設定の根拠 -			

特記事項（外部要因の影響など） -
目標値の実績値 別紙 循環型社会形成推進基本計画 参照

【別紙】 政策効果把握の手法及び関連指標

(施策名) - 6 - (1) 循環型社会の形成の推進のための基本措置 (下位目標番号) 1	単位	現況値(時点)	目標値(目標年次)
(指標名) 最終処分量	ト	約56百万ト (平成12年度)	約28百万ト (平成22年度)
指標の解説(指標の算定方法) 廃棄物最終処分量			
評価に用いた資料(インターネットの公開・非公開の別) 循環型社会形成推進基本計画 http://www.env.go.jp/recycle/circul/keikaku.html	関連する事務事業名 循環型社会形成推進基本計画の策定等 循環型社会形成に関する情報収集・調査の実施 循環型社会形成に関する普及啓発の推進		
目標値設定の根拠 -			
特記事項（外部要因の影響など） -			
目標値の実績値 別紙 循環型社会形成推進基本計画 参照			